

下水道技術ビジョン・ロードマップの一部改定について

公表資料

- ◆ 経済財政運営と改革の基本方針2017や未来投資戦略2017等では、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入促進が位置づけられるなど、下水道事業においても省エネ・創エネの取組が要請されている。
- ◆ 省エネ・創エネについては、下水処理場だけでなく、低炭素型のまちづくりを推進する観点からも、下水道施設全体で取り組んでいく必要がある。
- ◆ 上記を背景として、平成29年度第1回下水道技術開発会議(7月26日開催)での審議により、下水道技術ビジョン・ロードマップの一部を以下のとおり改定

ロードマップ該当箇所	ロードマップの見直し・追記事項
<p>⑩創エネ・再生可能エネルギー (技術ビジョンP.64、65、76)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期目標達成のための課題2を「下水道施設のエネルギーの供給拠点化、エネルギーの自立化を実現するにあたり、未利用のバイオマス等を活用するための要素技術の開発が進んでいない。その解決のため、未利用のバイオマス等を下水道施設でエネルギー化するための革新的な技術開発が必要」に、技術目標3を「下水道施設と下水資源を活用したエネルギー生産技術の開発」に見直し ● 技術開発項目3-6として「下水熱の利用技術」を追加。当面の技術目標(5年後)～中期技術目標(10年後)に応用研究、実証研究として概要を記載

※今後、「新下水道ビジョン加速戦略」(8月10日、国土交通省策定)を踏まえた改定等を検討予定